

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ESA 認証インストール必要条件](#)

[認証を必要とする ESA サービス](#)

## 概要

この資料は認証が使用することができるサービスおよび Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) のための認証インストール必要条件を記述したものです。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ESA
- AsyncOS

### 使用するコンポーネント

AsyncOS のバージョンを実行するこの文書に記載されている情報は Cisco ESA に基づいていません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## ESA 認証インストール必要条件

認証を ESA でインストールするためにプライバシー強化メール (PEM) 形式で利用可能なこれらの項目を持たなければなりません:

- X.509 認証
- 認証と一致するプライベートキー
- 認証局 (CA) によって提供される中間認証

# 認証を必要とする ESA サービス

認証はこの 4 人のサービスに使用することができます:

- 受信 Transport Layer Security ( TLS )
- 発信 TLS
- HTTPS
- Lightweight Directory Access Protocol ( LDAPS )

**ヒント :** サービスのすべての 4 のために同じ認証を使用できますまたはそれぞれのために別々の認証を使用できます。